



会員レポート 「第1回親睦旅行記」犬吠編

有限会社SPC設計 園部 隆夫 (一面からの続き)

さて、構造設計者のかかえる問題は様々ですが、ディスカッションの内容は、

構造設計者、構造技術者として技術、知識の更なる向上と修得が必須であり、そのための場の提供ができるのはJSCA千葉ではないか。

設計責任の問題を、我々はどのように対応して行けばいいのか。

自分の得意分野、専門分野において難題に直面したり、専門外の問題に遭遇した場合、我々はどうしてお互い支援、協力、協働して行けるか。

設計ミスを起こさないためにJSCA千葉ができる役割はなにか。

構造設計、工事監理、材料、施工、情報処理、等の分野で長年活躍され、定年などにより現役を引退された千葉在住の先輩方を、機会あるごとに後継者の育成を兼ね我々の中にご参加いただき、勉強会スタイルでその経験、知識を伝達、活用させて頂く場をもっと積極的に持つことを考えるべきではないか。

若手構造設計者の育成のため、学習会、講習会に若手を参加させるのは事務所の状況から困難が伴う。所長等が出席した会の情報を持ちかえり、所員に確実に伝達するよう心掛けている。

勉強会の主たる役割は技術委員会を主にしてはどうか。

大上段に構えた動きではなく、小人数でも良いから実りある勉強会のサークルを作り出して行けば必ず輪は広がって行くと思う。

といったものでした。

1時間程度ではとても十分審議できるテーマではありませんが、今後の活動のきっかけ、活動方針の一つとなる意義あるかつ貴重な時間でした。



お開きの挨拶、園部、竹内会員

会員委員会定期便 次の方々がJSCA千葉の所属となりました。(日付順)

富島誠司さん、市原市平田1109、0436-21-8244。竹下章治さん、千葉市美浜区真砂2-15-1-906、043-277-2808。真弘清英さん、浦安市入船4-13-18、047-380-0006。曾根洋治さん、我孫子市布佐1950-2(36街区17)、04-7181-5021。加納信幸さん、流山市大群440、04-7158-6531。出井正人さん、市川市南大野1-28-18、047-338-3762。(明智孝夫・斎藤利彦・服部信幸)

夜はにぎやかに宴会場(大広間を間仕切りした小部屋)での夕食でした。

何しろ遮音性のまったくない、視線だけを遮る間仕切りでしたから、お隣の超元氣なおば様のカラオケで氣勢をそがれ、我々の夕食は静かな会となりました。どうも一次会では本来の調子が出せずホテル内のバーに出向き、やっとリラックスできる場を持つことができました。



左から齋藤(利)、竹内、坂恵、向後会員

酔った勢いでフロアを歩いていたお嬢様?にウイスキーを持ってきてほしい旨伝えたら、「私はこの店のものではありません」と冷たい視線で断られてしまいました。お客さんがお客さんに注文する方も問題ですが、もう少しのやさしさがあっても感じられ、今時の女性の強さを痛感させられたシーンでした。「美しいものには.....」と言った所でしょうか。

その後も部屋で有意義な深夜のコミュニケーション(中には寝てしまっている方もいましたが)ができ、仕事から離れた会員の素顔にせまることができました。

今回は、協力会員である(株)角藤様から竹内さんを出席させて頂き、若手代表として頑張ってくださいました。紙面をお借りして御礼申し上げます。

今後は是非多くの会員の方々にご参加頂き、さらに有意義な親睦会となるよう努力して行きたいと考えております。

次回は、会員皆様方の奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

中越地震支援金10万円、本部に送金致しました。ご協力ありがとうございました!

JSCA千葉におきましては、12月始めに中越地震被災者への義援金のお願いを呼びかけましたところ、12名様より6万3000円の義援金を頂きました。支部より3万7000円を支出し、本部に合計10万円を中越地震活動支援金として12月15日に送りました。1月12日現在、本部には合計236万5191円が活動支援金として寄せられているとの事です。ご協力ありがとうございました。(齋藤美佐男)

JSCA千葉後援講習会の開催

昨年12月8日(水)午前9:30よりJSCA千葉後援による隔日2日間における、第1日目の講習会が開催された。(高度ポリテクセンターにて)



第1日目の内容としては『木造建築の構造設計を考える』のテーマで、「復元力特性と解析モデル・エネルギー法の解説」を木林氏に、「木質材料・接合部の特性及び品質管理とJSCA標準仕様」を金箱氏

に、そして「限界耐力法による新築木造3階建ての計算事例と解説」を真崎氏にと、3名の講師による有意義な解説でありました。

又、この中で筋かい(X型)+合板の組み合わせによる試験体の静的加力実験も行われ、結果は柱脚の破断(土台上より約40cm)であったがこの静的実験上でも、木造って金物等をしっかり付けておけば、結構丈夫?とも思いました。このほか振動台における模型(ミニフレーム)実験も行われました。

参加者は30名で皆、熱心なる受講風景でありました。第2日目は2月4日(金)です。忘れずに必ず受講して下さい。(長内)



2005年、JSCA千葉新年会

新年会及び記念講演会のご報告

(株)齋藤建築設計事務所 齋藤 美佐男
1月28日(金)に第8回新年会をホテルサンガーデン千葉で開催しました。

この度の新年会は耐震工学の権威で、かつ日本建築学会の副会長である東京工業大学の和田章教授をお迎えできました。



和田教授は損傷制御設計法の国内での提唱者として、制振・免震を含む耐震構造耐風構造大スパン超高層数値計算力学を主テーマとして活躍されています。「構造物は考えたところでは壊れない」という演題で、下界定理から説明できること、上界定理から「考え抜くこと」など構造設計上の重要なポイントをお話になりました。



新潟中越地震の直後のこの時期に私共にとって有益かつ今後の指針となるものとなりました。新年

のお忙しい時期ではありましたが、たくさんの方の御出席を賜り各位にお礼申し上げます。

千葉JSCA技術委員会勉強会報告欄(定例月1回予定)

技術委員会 委員長 市原嗣久 会場 千葉市文化センター 平成16年度JSCA千葉勉強会報告 (佐藤建築構造設計事務所 佐藤暢彦)	11月24日(水) (18:00~21:00) 出席、市原委員長他6名 耐震診断Q&A ・鉄骨梁ジョイントの保有耐力接合の検討方法について。・下階壁抜け柱の補強で、直交方向の補強ブレースにより補強を兼ねた場合の柱軸耐力の検討方法について。	「育成会員」の募集 さきの第1回親睦旅行で提案された、後継者育成の為に、現役を引退されたJSCA千葉の会員、在住会員の諸先輩方の中で勉強会の講師を行って頂ける方を「育成会員」(ふさわしい名称は考慮中です)として募集しております。 1年に数回(3回程度)は、	このスタイルの勉強会を行いましたと考えています。 「育成会員」登録していただける方は、市原までご連絡ください。 連絡先(有)市原建築構造設計事務所 市原嗣久 (お気軽にご連絡下さい) TEL 043-252-6174 (TEL・FAX 兼用)
---	---	---	--